

サイバー・フィジカル・セキュリティ対策促進事業

平成31年度予算額 **3.5億円（新規）**

事業の内容

事業目的・概要

- 深刻化するサイバー攻撃から我が国の社会を守り、経済社会の活力を高め
ていくため、産業サイバーセキュリティの強化が急務です。
- 本事業では、各産業の産業構造や海外動向を十分に考慮した、産業分野
別のサイバー・フィジカル・セキュリティ対策に関するガイドライン等の策定を推
進するとともに、策定したガイドライン等に基づいて、各企業がセキュリティ対策
を実施し、セキュリティが確保されていることを確認できる体制を構築します。
【委託】
- また、我が国産業に対する脅威に対応したサイバーセキュリティ製品・サービ
スが創出され普及するよう、ベンダー企業とユーザー企業の連携促進、実戦的
サイバーセキュリティ検証基盤の構築等を通じて、我が国発のサイバーセキュ
リティビジネスのエコシステムを構築します。【委託・補助】

成果目標

- 平成33年度末までに、4分野以上で産業分野別のサイバー・フィジカル・セ
キュリティ対策に関するガイドラインの策定を推進し、セキュリティ対策の確認の
仕組みを構築します。
- セキュリティ製品の性能や製品等の脆弱性を検証する基盤の構築等により、
我が国発のサイバーセキュリティ製品・サービスが創出され、普及するためのエ
コシステムの構築を目指します。

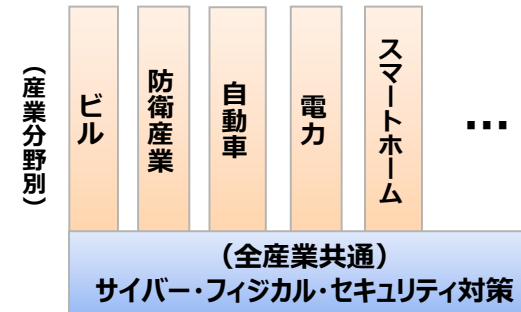
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

サイバー・フィジカル・セキュリティ対策の実施基盤構築【委託】

<産業分野毎の実現すべきセキュリティ対策の明確化>

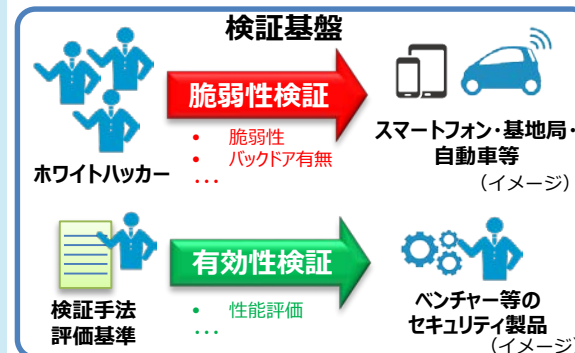


- 国際規格と協調した**産業分野別のサイバー・フィジカル・セキュリティ対策に関するガイドライン等**の策定。
- ガイドライン等に基づいた、**セキュリティ対策の実施を確認できる体制（例：認証体制）**の構築。

- ✓ サプライチェーン全体の**セキュリティ確保**
- ✓ **グローバルサプライチェーンでの競争力強化**

我が国サイバーセキュリティビジネスのエコシステム構築【委託・補助】

<実戦的サイバーセキュリティ検証基盤の構築>



- 脆弱性検証を通じて、**検証実施者の体制、検証ツール、検証手法等**を整備。
- **有効性・信頼性を検証するための基準**を構築。

- ✓ **バックドア等が仕込まれた製品等の市場流通への対策強化**
- ✓ **有効性のお墨付きを得た、我が国発のセキュリティ製品の普及**